Scholar of the Year candidate 14

レイチェル　ジェイド　デロス　サントス（FH-253）

**フィリピン社会に貢献できることは何か**

フィリピンとは、フィリピノ（フィリピン人）で構成される国であり社会です。

多様な民族であり、フィリピノとして大切な知識や技術を身につける場所です。

こうして自国について学んでいくうちに私の心に湧き上がってくる懸念は、現在フィリピンが直面している問題に目を向けなければならないということです。もし、私が

求められたら、フィリピンの未来のためにできることはなんだろうかと考えました。

　貢献する、というのは簡単ですが、それには大きな責任が伴うと同時にきちんと理由や方針を示して説明できなければなりません。私は、多様なフィリピン人のひとりとして、自分自身が近い将来、この社会の助けになりたいという想いを持っています。

　良い市民となるには、基盤となる「家族」から始まります。「家族」こそが私たちの価値観を育て、より良い人間となるように思わせてくれる場所です。私は一家の年長の

娘として、きょうだいの手本となるよう学校でも実生活でも振る舞わなければなりません。両親の教えを尊び、市民として暮らしていく中で、よい社会人として法令遵守し

権利を知り、正義に反することはしない。その場面場面での価値観や文化を尊重して暮らしていくことで、社会の一員としての責任を果たしていきたいと思います。

　また現在のフィリピンが抱えている問題を注視するだけでなく、その解決を示して

いけるようになりたいです。社会発展のため、解決の糸口を作るのです。教育は、政府がフィリピン国民に与えるチャンスのひとつです。ABジャーナリズムを学ぶ学生として、皆が自由に情報にアクセスでき、適切に普及していけるよう啓蒙していきたいです。

　私は、将来ジャーナリストになった時には、人々が私の提供する情報を信頼してくれるような記事を書きたいです―現在の社会情勢について何が正しく、何が間違っているか、そして皆の権利が等しく行使できるよう、開かれた議論の場を作ることで、社会に貢献したいです。

　上記以外に、今祖国フィリピンにすぐにも貢献できることがあります。

私を励まし、インスピレーションを与えて下さる皆さまのお陰で、ジャーナリストとして成功した時には、これまで自国に尽くすために夢や力をもってくれた方々を見習い

私自身も、自国に同様のことをするでしょう。何年か後に、もっと経験値ができた時

私自身が「人の人生を変える人」となって国家に貢献できる人材育成をしたいです。